

SEKISUI つっぱり式部屋干しポール DTHW-1 取扱説明書

このたびは、セキスイつっぱり式部屋干しポールをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用に際しましては、**注意**事項をお守りいただき、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。この「取扱説明書」は、大切に保管してください。

Lot No.

部品表 * 部品の名称と数量をまずご確認ください。

部品名	数量	部品名	数量
①支柱上	2	③竿かけ	4
②支柱下	2	④圧着板	4
		⑤化粧ネジ	2

取付け前の注意

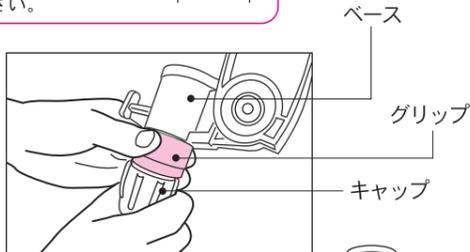
- ポールは、天井と床にバネで圧着取付けしますので、取付ける天井面は、コンクリートや梁(横桎)などしっかりした場所をお選びください。
- ボードなど軟らかい材質面の場合には、天井が破損する恐れがありますので、必ず桎のある位置に取付けてください。
- 和室の天井は、破損したり、変形して止まらないことがありますので、取付けしないでください。
- 傾斜した天井・床には取付けしないでください。
- 天井と床の間が、取付範囲の200~275cmであることを確認してください。

組立てかた 「取付け前のご注意」を必ずお読みください。

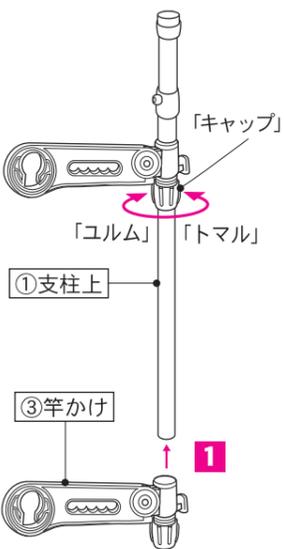
注意

- パイプの端面などで手や足などをケガしないように注意して組立ててください。(端面に手などを触れないでください。)
- 化粧ネジの先端はキリ状になっていますので、先端で指などをケガされないよう、十分にご確認ください。
- 組立てる際には、手袋を着用してください。

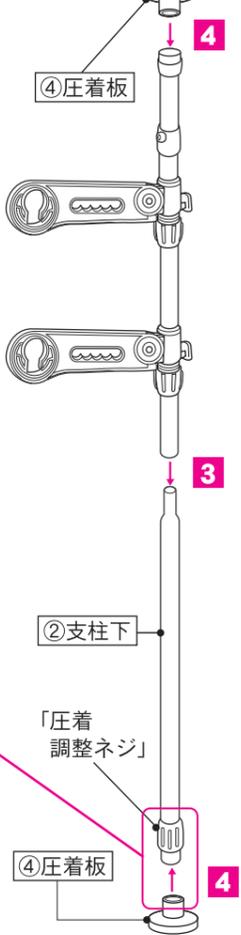
(注) ③竿かけの操作は、図のように片手で「クリップ」をしっかり握り、「キャップ」を回してください。万一、片手で「ベース」を握り「キャップ」を操作すると「ゆるめたり、パイプに固定したり」することができません。



- ③竿かけの「キャップ」をゆるめてから図のように①支柱上に挿入し、「キャップ」で軽く固定します。
- ②支柱下の「圧着調整ネジ」をまわし「圧着調整ネジ」の端を「調整シール」の「取付けライン」にあわせませう。
- ①支柱上に②支柱下を奥までしっかりと差し込みませう。
- ④圧着板を①支柱上②支柱下にパチッと奥まで確実に差し込みませう。



※圧着調整ネジは………
 ①「弱」の方向にまわし過ぎると、からまわりする構造になっています。からまわりするようであれば、圧着調整ネジを引っ張りながら「強」の方向にまわせば、からまわりは解消されます。
 ②「強」の方向にまわし過ぎると抜けませうので、抜けた場合は、「弱」の方向にまわしてネジ込んでください。



取付けかた

5 ①支柱上の「細いパイプ」を「ユルム」の方向にまわしゆるめてから、「細いパイプ」を天井までいっばいに伸ばし、次に「トマル」の方向にまわして、しっかりと固定ませう。
 ※支柱が倒れない程度に仮固定されているか確認してください。

6 「支柱」にねじれ・傾きがないことを確認し、⑤化粧ネジで①支柱上の「細いパイプ」を確実に固定ませう。

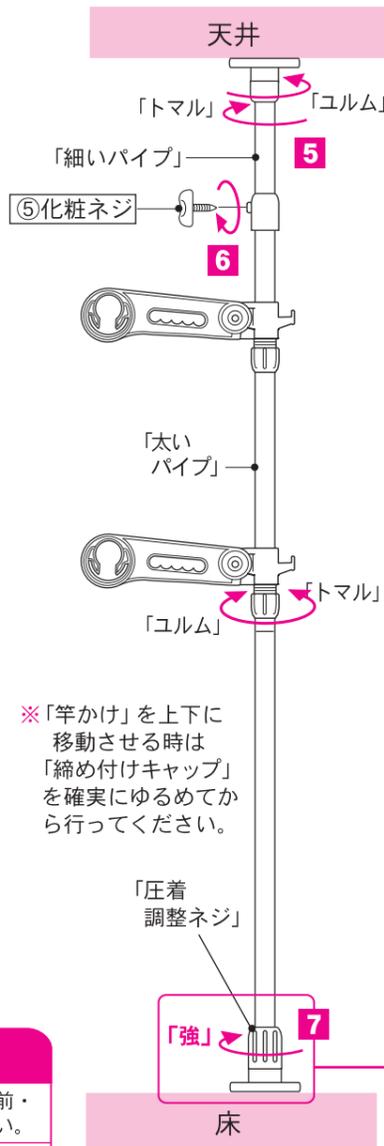
※ネジ止めは少しかた目の設計ですので、強くまわし、確実にネジ止めしてください。

7 このままでは取付け強度が不十分ですので、②支柱下の「パイプ」が回転しない様に片手で「太いパイプ」を持って、片手で「圧着調整ネジ」を「強」の方向にまわし、バネの力で天井と床にしっかりと固定ませう。

※取付け強度が弱いと倒れる場合がありますので十分にご確認ください。

※圧着調整は、調整シールのストップ線までにしてください。ストップ線をこえた時は、最初から取付け直してください。

8 最後に、取付け強度が十分か、「支柱」が前後・左右に傾いていないか、竿をセットした時に竿が水平になっているか確認後、ご使用ください。



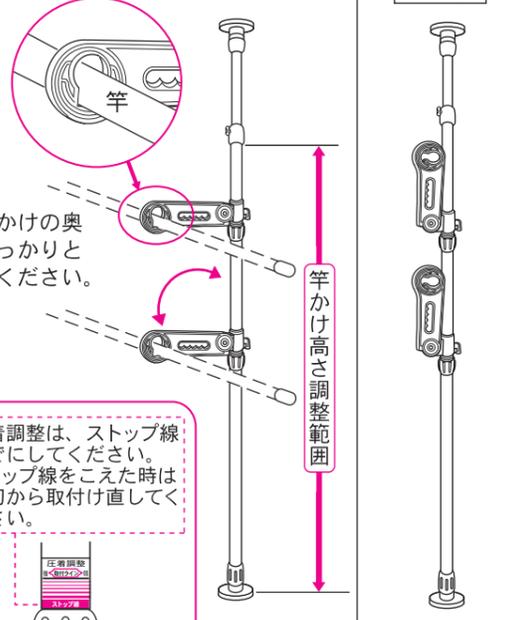
※「竿かけ」を上下に移動させる時は「締め付けキャップ」を確実にゆるめてから行ってください。

※竿は竿かけの奥までしっかりとはめてください。

※圧着調整は、ストップ線までにしてください。ストップ線をこえた時は最初から取付け直してください。

完成図

収納図



注意

- ご使用前に必ず完成図通りに組立てられているか確認し、各部を点検してからご使用ください。ご使用前・ご使用中に異状に気づいた場合は、ご使用にならないで下記「お客さま相談室」までお問い合わせください。
- 本製品は、洗濯物用のほし台ですので、他の用途にはご使用にならないでください。 **屋外使用禁止**
- 製品にぶらさがったり、引っ張ったり、乗ったりしないでください。落下や転倒によりケガをしたり、物を破損する恐れがあります。(特にお子さまにご注意ください。)
- ストーブなど火気のそばでは使用しないでください。
- 取付け2~3日後に、しっかりと取付けられているか確認し、弱い時は、圧着調整ネジを「強」の方向に回して取付け強度をアップしてください。また、定期的にポールを引張って、取付け強度を確認してください。
- 長期の使用により、ひび割れ等の劣化が生じた場合は、強度が不足して危険ですので、ご使用にならないでください。
- 急激に物をかけますと破損や転倒の原因となりますのでご注意ください。
- 万一に備え、貴重品や壊れやすい物・危険物は掛けたり、そばに置かないでください。(特にお子さまをそばで寝かしたりしないでください。)
- 竿のかわりにものほしロープを使用しますと倒れる場合がありますので使用しないでください。
- 竿や洗濯物の落下にご注意ください。
- かけられる重さは、全体で約20kgまでです。(竿1本あたり約10kgまで)全体にバランス良くほしてください。
- かけられる重さは、取付け高さ、取付け幅、壁面の状態・取付け方によって低くなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は天井と床に圧着固定しますので、プラスチック製の床や天井の場合、材質によっては、圧着面についているゴムの内容物の析出や移行により、変色や変質を起こす場合がありますので、取付け2~3日後に取付け面をご確認ください。変色や変質がみられる場合は、あて板をして圧着固定してください。尚、取り外した後に、床や天井の材質によっては、変色や跡が残る場合がありますのでご了承ください。

【ご使用に際してのお願い】

- 竿をかけて左右の竿かけの高さが同じか確認してからご使用ください。高さが違うと片側へ竿がずれる恐れがあります。
- 使用できる竿の太さは、直径3cmまでです。

【ステンレス製品のご使用に際してのお願い】

- ステンレスは鉄にくらべ、サビにくい金属ですが使用条件や環境によってはサビを発生させることがあります。
- サビの原因は主に潮風に含まれている塩分、大気中に浮遊している鉄粉や有害ガスなどでこれらの異物が付着し、もらいサビをおこします。いつまでも美しくご使用いただくために時々、パイプを目で確かめ、早めに異物をおふきとりください。
- 手入れの方法
 - ①軽い汚れは水ぶきをしてください。
 - ②とれにくい場合は中性洗剤か、ベンジンなどでふいた後、よく水ぶきをしてください。
 - ③点状のサビがみられる時は、中性洗剤や、めのこまかいキッチン用クレンザーなどを布につけて軽くこすりとった後、よく水ぶきをしてください。

品質表示 本体…ステンレスパイプ、ステンレス巻きスチールパイプ
 成型部品…ポリプロピレン樹脂、ABS樹脂、EVA樹脂/バネ・ネジ類…鉄(メッキ)

お問い合わせ先

製品は厳正な品質管理を行っておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが「お客さま相談室」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
積水樹脂株式会社「お客さま相談室」0120-808032
 (土、日、祝日は休日ですのでお問い合わせは平日(9:00~12:00・13:00~17:00)にお願い致します。)

積水樹脂株式会社
 インターネット・ホームページ・アドレスナンバー
<http://www.sekisuijushi.co.jp/> (製品情報、生活用製内)
 MADE IN CHINA

【ご注意】

- 製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。